

株式会社 ひびき

認定テーマ名：

鶴ヶ島産サフランを使用した清涼飲料水と中間素材等の商品開発、製造及び販売

1. 認定事業の現況

本事業は、農業者と中小企業者双方の経営資源を活用し、サフランを利用した商品開発・販売・ブランド化を連携して行うものである。農業者のシンボライズファームは、新たにサフランの実用育成栽培に取組み、最終商品に適したサフランの安定供給を目指した。中小企業者である株式会社ひびきは、農業者から供給を受けるサフランを活用し、新たな清涼飲料水（サフランティーなど）の開発や、粉末・ジュレなどの中間素材の開発に取り組んだ。さらに両社は、開発された商品を地域の事業者とともに更なる最終商品として仕上げ、鶴ヶ島産サフランのブランド化に取り組んだ。

商品としては、①常温もしくは冷やした状態で飲んでもらえるようにペットボトルの形態で商品化した「ドリンク（清涼飲料水）」、②就寝前、お茶を入れて飲んでもらえるようにティーバッグの形態で商品化した「ティーバッグ」、③飲食店や洋菓子店向けにサフランライスやケーキなどに使用してもらえるようにパウダー状ないしジュレ状の「中間素材」を開発した。

現在では、「株式会社ひびき」全店舗（20店）において、ソフトドリンクとして「サフラン・ティー」、オリジナルカクテルとして「サフラン・ハイ」を提供している。サフランはビタミン豊富でβカロチンやクロシンも含まれていることからアンチエイジングが期待できる。また、ティーバック形式を利用した「サフラン・ティー」をお土産商品として開発し、家庭用商品として好評である。



サフラン茶ハイ



パannaコッタの
サフランオレンジソース

2. 今後の展望（見通し）

各店舗における「サフラン茶ハイ」は、お客様から「すっきりと飲みやすい」という評価をいただいております。定番商品としての定着を図っていく。

今後の展開としては、地域全体としての「サフラン」商品が多様化するよう、株式会社ひびきが率先して「鶴ヶ島産サフラン」のブランド価値を高めていくつもりである。

3. 認定を目指した経緯

当該連携事業者が所在する埼玉県鶴ヶ島市では、「サフラン」は、古くから健康に良いと言われて、農家の女性が自家消費用として栽培してきた。農家の減少とともにサフランを栽培する農家は減少し、ごくわずかな農家にて栽培が続けられてきた。平成25年4月に鶴ヶ島をサフランの一大産地に復活しようという取り組みがスタートし、鶴ヶ島市・いるま野農業協同組合・城西大学・女子栄養大学などから構成される産学官の各団体が参加して、「鶴ヶ島サフラン・スーパーサポーターズ」の設立総会が開催された。サフランの生産は、国内では大分県竹田市が生産量の8割を占めているものの、それ以外の地域ではほとんど作られていないことから「鶴ヶ島でつくることで町おこしにつながるのではないかと考え、JAおおいたの協力により、球根6000個を購入、1年かけて栽培、産地化を進めることになった。

農業者であるシンボライズファーム（埼玉県坂戸市）は、長年酪農と稲作の農業経営を行ってきた。酪農は、穀物の高騰による飼料代の負担が大きく、また経済のグローバル化など厳しい競争環境により、将来の経営がさらに厳しさが増すことが予想された。また、鶴ヶ島市内の農業者は後継者不足等で減少している状況であった。戦後は「スイカ」や「メロン」が特産品であったが、取組み当時は鶴ヶ島の特産品は「狭山茶」しかなかった。そのため自らの経営に加え、鶴ヶ島市周辺の農業者の再建にもつながる新たな高付加価値の農産物への取り組みが不可欠であると考えていた。

株式会社ひびき（埼玉県川越市）は、地元埼玉県の「彩の国黒豚」を用いた焼きトン製造し、自ら経営する川越市、東松山市を中心としたテイクアウト店、飲食店で販売している。当初は、首都圏に新規出店を通じ、順調に業績を伸ばしていた。しかし、少子高齢化による市場縮小など経済環境がさらに厳しくなることと、消費行動の変化に備えて、価格競争に巻き込まれない、消費者のライフスタイルやニーズにマッチした、地元産の高付加価値商品を開発していくことが必要と考えていた。

ここに、サフランによる地域活性化をきっかけに、生産者と商品開発・販売者が連携し、あらたな事業を展開することとなった。

4. 利用した中小機構の支援策

中小機構のチーフアドバイザーによる認定に向けての事業計画のブラッシュアップ、認定後の定期的な事業のフォローアップ、アドバイザー派遣による商品開発の手法やレシピの作成等助言・指導の専門的なハンズオン支援を受けた。

5. 企業概要

事業者名	株式会社ひびき		
本社所在地	川越市霞ヶ関 2-3-2		
ホームページアドレス	http://www.hibiki-food.jp/index.html		
設立年月	平成 4 年		
資本金	538,900 千円 (準備金含む)	従業員数	47 名
売上高	全体 2,074,750 千円、認定事業の売上高 4,166 千円		

※平成 30 年 6 月 30 日現在

6. 認定事業の概要

テーマ名	鶴ヶ島産サフランを使用した清涼飲料水と中間素材等の商品開発、製造及び販売
テーマの概要	<p>中小企業者である株式会社ひびきと農業事業者であるシンボライズファームが連携することで最終的には、鶴ヶ島市の新たな特産品の開発につなげていくこと、鶴ヶ島市へ足を運ぶ機会の創出、鶴ヶ島の農業者の所得拡大の一役を担っていくことを目的とした。</p> <p>株式会社ひびきによる加工・販売とシンボライズファームによるサフランの栽培を通じて、サフランティーのドリンク、ティーバッグ並びに中間素材（パウダー、ジュレ状など）の商品開発を行った。サフランを鶴ヶ島市の特産にするために、鶴ヶ島サフラン・スーパーサポーターズと一体となって商品開発・販売を推進し、ブランド化に取り組んだ。</p>
認定期間	平成 26 年 3 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日